

MRI、PET検査を受けた皆様へ（臨床研究に関する情報）

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂く必要があります。

放医研では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、本研究とは別途に実施された別の臨床研究のデータをまとめて解析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

[研究課題名] 脳内タウイメージング用放射性薬剤^[11C]PBB3を用いた老年期精神症状の病態に関する研究
[まとめてデータを解析する対象となる別途に実施された臨床研究]

- ・脳内タウイメージング用放射性薬剤^[11C]PBB3を用いた変性性認知症病態に関する研究
- ・脳内タウイメージング用放射性薬剤^[11C]PBB3を用いた外傷性脳損傷の病態に関する研究

[研究機関] 放射線医学総合研究所

[研究責任者] 高畑圭輔

[研究の目的]

脳内タウイメージング用放射性薬剤^[11C]PBB3を用いて評価したタウ蛋白病変の分布・程度と、老年期精神症状の病態との関連を解析するため

[研究の方法]

●対象となる被験者さん

健康ボランティアの方で、2014年7月から2016年10月の間に放射線医学総合研究所にてMRI、PET検査を行われた方

●利用する研究情報

別途実施済みの研究データを使用しますので、新たな質問や検査の必要はありません。

診断名、年齢、性別、今までの病気の経過、診察所見

検査所見（MRI画像またはCT画像、PET画像、心理検査結果）

[個人情報の取り扱い]

お名前や個人情報ができることは、一切ありません。

利用する情報からは、お名前、住所など個人を直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。（独立行政法人放射線医学総合研究所個人情報保護規程18規程第65号に従い取り扱います）

この研究にご自分の研究記録を使ってほしくない方、またはそのご家族は、2016年10月31日までにお申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。

いつでもお断りいただけますので、その場合は、下記【問い合わせ先：窓口】に お申し出ください。

[問い合わせ先：窓口]
千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1
放射線医学総合研究所
臨床研究支援室
電話：043-206-4713
平日：8:30 ～ 17:00